



『学 芸 会』

校長 木 村 明 彦

9月下旬から、一雨ごとに気温が下がり、学校周辺の木々の葉も、少しずつ黄色くなって参りました。あれほど暑かった日々が、嘘のようです。羊蹄の頂が白くなるのも、そう遠くはなさそうですので、そろそろ、冬支度も始めなければと考えているところです。今年の長期予報は、暖冬のようなようですが、コロナ感染症や季節外れのインフルエンザもはやっているようです。保護者・地域の皆様におかれましては、これから迎える寒い時期を、健康に過ごしていただきたいと思います。

さて、学校では、学芸会を来週末に控え、子どもたちの練習にも、熱が入ってきました。校舎のあちこちからは、楽器の音や台詞練習の声などが聞こえてきます。「おっ、リズムがずれてるか?」「あらっ、台詞が聞こえなくなった、忘れたか?」困っている子どもたちの様子を想像してしまいます。教室をのぞくと、やはり、困った顔をしている子がいます。学芸会までまだ1週間、中々上手くいかないことが多いようです。でも、子どもたちは、あきらめることなく、練習を繰り返します。「どうしたら?」周囲のアドバイスはあるものの、課題を乗り越えていくのは、本人です。自身の課題を、自分に合った方法を見つけ出して、一つ一つ解決していきます。この一連の過程を繰り返していくことで、新たな課題を解決していく力が身についていきます。どんどん変わっていく、未来社会を生きていく子どもたちには、想像もできないような課題と向き合わなければならない事が、あるのかもしれませんが、既存の知識を持っているだけでは立ちゆかないのが、近未来であることは、容易に想像できることです。ですから、新たな課題にも対応できる力こそが、これからの時代には必要だと考えます。新たな課題への対応力は、これで良しという事はありません。生涯、磨き続けていかなければならない大切な力です。その素養を小学校時代に、そして学芸会練習という機会を通して、身につけてほしいと願っています。今週末の学芸会では、多くの失敗を乗り越え、自信に満ちた表情で舞台に立つ子どもたちの姿を、大いに期待したいと思います。保護者の皆様にも、是非、堂々とした、子どもたちの姿を見ていただき、大きな声援をいただけると幸いです。多くの皆様のご来校をお待ちしています。



本年度の重点目標

主体的に学ぶ力の育成を図る～意欲溢れる優しい子～



大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう!



宿泊学習

8月31日・9月1日に5年生が宿泊学習に出かけました。ここ数年コロナ禍で宿泊ができていなかったのも、子どもたちも予定通りできることを何よりも嬉しく思っていたようです。1日目は、北海道芸術の森で野外美術館の作品を見学しました。ガイドの方からの説明があったので、作者の意図や工夫を感じながら作品を鑑賞することができ、作品の面白さや不思議さに気づくことができたようです。また、定山溪自然の村では、森にある素材を材料にしての工作づくり、薪割り体験、羽釜での炊飯やカレー作りに取り組みました。美味しくできた夕飯を食べた後は、たき火パーティーを行い焼きマシュマロを楽しみました。



2日目。北海道新聞社では、写真部で写真を撮らせてもらったり、望遠カメラでのぞいてみたりしました。また、新聞のレイアウトや見出しの作り方など、新聞製作に携わる人々の仕事について触れることができました。次の見学地のコカ・コーラボトリング札幌工場では、高さ30m、奥行き100mの巨大倉庫で、すべて機械が管理しているところを見せていただきました。バスの中などでも自分たちで考えたレクをするなど、仲間と協力して活動したことは子どもたちの良い思い出になったようです。

寄贈していただきました

南後法人会喜茂別・留寿都地区地域貢献事業で、喜茂別町商工会からハードルとゴム跳びセットを寄贈していただきました。また、6年生の小笠原さんからは、クロスカントリー用ポール3セットと靴、一輪車を寄贈していただいております。今後、体育の授業で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



非行防止教室

6年生を対象に非行防止教室が行われました。倶知安警察署の方から、保健の時間に学習した飲酒・喫煙・薬物の危険性について詳しく教えていただきました。

また、スマートフォンやインターネットの使用に関するトラブルやそれを回避するための方法も教えていただきました。使用の際には、①ルールを守る ②メリハリを付ける ③夢中になりすぎていないか考えることが大切だそうです。本校でも、スマートフォンを手にする年齢が下がってきているようです。学校でも指導をしていきますが、ご家庭でのルールの確認もお願いいたします。

芸術鑑賞～in 岩内～

9月8日に劇団四季の「人間になりたがった猫」を観劇してきました。舞台が始まると迫力ある歌や踊り、そして劇団の皆さんの演技力に引き込まれて、2時間という時間があっという間に過ぎてしまいました。学芸会では、子ども達が練習の成果を発揮し観客の皆様を引きつけてくれることと思います。

☆学芸会で撮影した写真は、不特定多数の人が写っていますので SNS にアップすることはお控えください。

後志 PTA 研修会

9月3日（日）に古平町で開催された研修会に参加してきました。子育てを楽しめるヒントや親子の関わり方について、真狩村にある「なみうち助産院」の浪内淳子さんから話を聞くことができました。

また、「侍ジャパン」の監督を務めた栗山英樹さんからは、ワールド・ベースボール・クラシック大会の裏話を交えながら「個の力を引き出す関わり方」について講演していただきました。

どちらのお話もとても興味深く有意義な時間となりました。